

ANIME

want to be an animator

アニメーション専攻 (週5日/2年制)

業界に変革をもたらす人材を育てる

目指せる職業 **アニメーター（動画、原画、作画監督）** **キャラクターデザイナー** **イラストレーター** **演出家** **監督**

アニメーション専攻では、日本のアニメ業界に一石を投じる力のある人材の育成を目指しています。現在、TVアニメタイトル数は年々と増加し年間300以上のタイトルが制作されています。課題とされてきた雇用の問題についても、徐々にですが改革の兆しをみせています。また海外でのアニメ市場も拡大しており、アニメーターとしての技術の需要はより国際的なものへとなっています。当学院ではアニメプロダクションを併設しており、とても優秀な卒業

生と講師が籍を置いています。アニメ制作の受注はもちろん、海外での講演を中心にアニメ普及事業を積極的に行っています。在校生はプロアニメーターが制作に打ち込んでいる姿を間近で見ることができるので、より現場に近い空気を肌で感じながら修業に努めることが可能です。アニメーターとして生計を立てることが困難な時代は終わりました。あなたも誰も見たことがない新しい世界をつくる一人になりませんか？

●2年間のカリキュラム例



1年次

月	火	水	木	金
描画1	動画1	制作演出1	デッサン1	デジタル描画1
描画2	動画2	制作演出2	デッサン2	デジタル描画2

2年次

月	火	水	木	金
原画1	実践動画2	現場力養成1	作品制作1	デジタル撮影1
原画2	実践動画4	現場力養成2	作品制作2	デジタル撮影2

※記載の時間割は一例です。入学時期により変動することがあります。



卒業生インタビュー：成田 さくら さん



★ampsに入学してどうでしたか？

ampsでは先生と生徒との距離が近く、気軽にしっかり相談や添削をしてもらえますし、何より現役のアニメーター（作画監督）の先生がご指導くださるという大変贅沢な環境で学んでいます。私は地方からこの度上京しましたが、ampsで学ぶことを決意して本当に良かったと感じています。

★授業や先生、クラスメートについて教えてください。

授業は個別にしっかりと添削してもらえるので、自分自身の描けていない部分を明確に指摘していただき気づくことができるため、より画力の向上に繋がりがやすいと感じています。先生は絵だけでなく、他愛も無い雑談等も気軽にすることができます。就活についても親身になって相談に乗ってくれるので心強いです。クラスメイトは同じ目標を持っているので、精神的に辛いときでも心が安らぐ、そんな良い仲間達です。

★将来の目標を教えてください。

どんなアクションでも違和感なく滑らかに描けるような原画マンになり、ゆくゆくは作画監督やキャラクターデザイン等マルチに活躍できるクリエイターになりたいと思っています。いずれは岡山に戻ろうと考えているので、在宅でアニメーターやイラストレーターの仕事も受けれたら嬉しいと考えています。

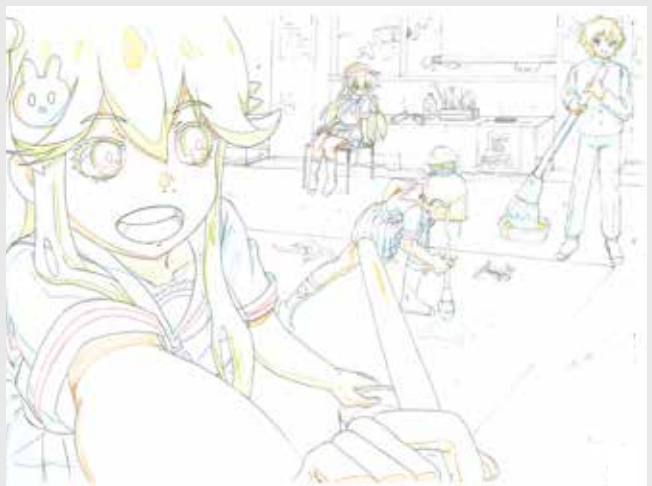
★好きなアニメを教えてください。

これまでアニメからたくさんの感動をもらってきたので、これからは自分が視聴者に感動を与えられるアニメを作っていきたいと思います。また小幡先生のように優れたアニメーターになれば、その技術を後世に伝えていきたいとも考えています。

学生作品

アニメーション専攻

アニメーション専攻ではキャラクターの描画方法はもちろん、動画や原画、レイアウトや演出、撮影技術、仕上げ、背景など日本のアニメ制作に関わる多くの知識と技術を学びます。主に使用する道具は鉛筆、色鉛筆、消しゴム、動画用紙、タップぐらいに絞られているので道具の技術習得に時間をかけることがごく僅となり、絵のことに集中してスキルアップができます。アニメーション専攻を志望する学生はアニメーター志望だけではなく、純粋な絵の上達やイラストレーターを志望する学生も多くいます。



留学生：David Gillule さん（アメリカ合衆国出身）

教えてくれる先生たちの印象は？

先生の指導が詳しく細かくとても良いと思います。質問もしやすく本当に頼れる先生たちです。

日本に来日して感じたことは？

食事が美味しすぎて来日してから 40 キロ太りました。

好きな作品を教えてください

「ヒカルの碁」、「デジモンシリーズ」、「NARUTO」、「マクロスシリーズ」、

「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない」、「王様ランキング」など

日本で一度他の仕事をされてから、アニメーションを学習しようと思った理由は？

どうせ働くなら大変でも好きなものに携われる会社に入りたい。そのために学校に入りました。

卒業後はどのようなことをしたいですか？

アニメ業界で色々な作品にアニメーターとして参加したいです。



座談 佐々木 海溜さん（在学生）× 小幡 公春（アニメ学科主任講師）

小幡（以下、**O**）>今日は1年生の佐々木さんにインタビューしたいと思います。

まず、佐々木さんがアニメーターを志したきっかけは何でしょうか？

佐々木（以下、**S**）>志す前の話を少しすると私は絵を描くのが好きで、高校は絵を描く学校に通っていたんですが、一度そこで挫折してしまって普通に社会人をしていました。働きながらアニメを観たりしていたんですが、アニメを観る中で「私はやっぱり絵を描くのが大好きなんだ」と再認識して思い切って会社を辞めました。

O>辞めちゃいましたか!! 勇気がいったんじゃないですか？

S>大きな決断でしたが、やっぱり私はアニメ制作の道に進みたいと思ってアニメーターを目指しました。

O>目指す上で、この amps という学校を選んできた決め手は何だったのでしょうか？

S>当時、私は学校を選ぶのをすごく迷っていて、色々な学校のオープンキャンパスや体験入学に全部で 17 回ぐらい行きました。その中で小幡先生の体験授業を受けた時に、先生の描く「線」にすごく感動して、そこから 2、3 回体験授業を受けさせていただき、「この先生に学びたい!」と思って amps を選びました。

O>嬉しいこと言ってくれますね～
では実際に amps で学んでみてどうですか？

S>ずっと一人で描いていた時はすごく孤独を感じていたりだとかしていて～

O>あんまり絵を描く仲間はいなかったんですか？

S>そうなんです、絵を描く仲間もいなくて、「私は本当に上手くなるんだろうか～」と思いながら一人でただひたすら描いていました。なので学院で、同じ夢を目指す方たちと一緒に勉強していくことも新鮮で刺激を



受けるし、自分の描いた絵を先生に添削してもらって良い点や欠点を教えてもらい、自分の成長を実感しています。

O>そうですか。ではますますこれから上手くなっていきましょね。

S>はい!

O>それでは最後に佐々木さんのデッカい目標を聞かせてください。

S>私は普段から頭の中でキャラクターを考えるのが好きなので、将来はキャラクターデザインもできるようなアニメーターになりたいと思っています。

O>じゃあその作品が日本のみならず世界にドーンといってね、世界の人たちに知ってもらえるようなアニメーターになっていただきたいですね!

S>はい!! ガンバリま～す

O>頑張ってください。ありがとうございました～

【就職実績】※専科コース卒業生を含む

亜細亜堂／アゼータピクチャーズ／ウィッシュ／ウィットスタジオ／A1 ピクチャーズ／オーエルエム／カラードペンシルアニメーションジャパン／きのプロダクション／ぎゃろっぷ／サイエンス SARU／作楽クリエイト／サテライト／サンライズビヨンドジーベック／ジェーシースタッフ／シルバーリンク／スタジオ五組／スタジオコメット／スタジオディーン／スタジオぱれっと／スタジオボンコタン／スタジオオリぶら／タツノコプロ／デイヴィッドプロダクション／ディオメディア／テレコムアニメーションフィルム／バイオニアプロダクション／ピーアールエー／びえろ／フェリックスフィルム／プロダクション I G／ホワイトフォックス／ボンズ／マウス／マジックバス／マッドハウス／夢太カンパニー／ライデンフィルム／和風アニメーション／他多数（順不同、敬称略）